

平成 23 年度 知能情報システム工学輪講及び演習 (M1)

1 概要

M1 (H23)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前期ガイダンス 4/12(火) 10:00~ @C10	ディベート大会					一般的な話題提供 (実習付き)			ポスター発表 再発表		
	5/10	6/7	7/5			10/3	11/7	12/5			
	5/17	6/14	7/12			10/17	11/14	12/12			
	5/24	6/21	7/19			10/24	11/21	12/19			
	5/31	6/28	7/26				11/28				

M2 (H24)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前期ガイダンス	研究発表 (毎週)							中間発表 (集中的)			
								修士論文に関する研究に集中			

2 内容

2.1 M1 前期

論理的なものの考え方や議論する能力を鍛えるため、ディベート大会を行う。ディベートとは、ある公的なテーマについて、異なる立場に分かれて議論することである。3~4名のグループに分かれ、前もって与えられたテーマについて自分たちの立場を主張するスライドを用意する。また、相手の主張を退ける用意もしておき、さらに、臨機応変に相手の弱点を突く。

テーマの例

- Wii vs PS3
- Windows vs Linux
- 終身雇用制 是 or 非
- 学部教育において卒業論文は廃止し、その代わりに講義を増やすべきである
- 就職活動を理由とする講義や試験の欠席を禁止すべきである

2.2 M1 後期

就職面接や入社後に、徳島大学生として恥ずかしくない知識と教養、常識を身につけるため、研究グループ単位で、興味を引くトピックスについて調査し、わかりやすく講義する。また、講義の際は、聴講者が実際に手を動かす実習をつけることによって、使える知識とするよう心がける。

トピックスの例

- 魅力的なプレゼンテーションのやり方
- 正しい論文の書き方
- 絶対に落ちない就職面接 10 箇条
- 正しい食生活と健康法
- 正しいビジネスレターの書き方
- これだけは知っておきたい冠婚葬祭マナー

2.3 ポスター発表 (M1 後期)

1月下旬か2月初旬に、研究発表会(ポスターセッション)を行う。各自の研究をポスターにまとめ、来場者と研究についてディスカッションする。厳正な審査があり、再発表もありうる。

2.4 M2 前期

5月末から7月に掛けて、一人当たり25分程度の研究発表(口頭)を行う。修士論文完成を目指して、問題点やさらに発展させるべきことなどを洗い出す。

2.5 M2 後期

12月頃に中間発表会(口頭発表)を行う。修士論文公聴会へ向けた最後の確認を行う。M2の後期は、基本的に、各研究室において研究に集中すること。

2.6 講演会

学科主催の講演会については、聴講を義務付けることがある。(出席確認あり)

3 注意事項

3.1 公欠申請書

やむを得ず欠席する場合は、事前に指導教員の承認を添えた公欠申請書を提出すること。急病などのため事前に申請することが難しい場合でも、事前に電話等により連絡する努力をし、回復後、可及的速やかに公欠申請書を提出すること。公欠申請書はつぎのURLにある:

<http://weierstrass.is.tokushima-u.ac.jp/rinkou/>

3.2 成績

成績は学期ごとに採点しますが、最終成績は2年の最後にしか出ません。